

プロジェクト 「数える」

● 数えること

「数える」ことは日常生活で生じるあらゆる種類の活動にとって必要で重要な技術です。そして、やがて学習する計算方法にとって十分な準備となるものです。数え方を学ぶとき、私たちは次に示すような重要な段階を識別しなければなりません。

- 連続して数える(正確へ) ■指をさして数える(同時に2つの事をする…共時性)
- 目で数える(視覚性) ■聞きながら数える(聴覚性) ■付け加えて数える
- 上手に数える(効率的)

また、「数の比較」も独立した別の技術として示したいと考えます。

- 一対になっているもの 例えば、カップと受け皿 机と椅子など
- 一対になっていない 1対1のもの 例えば 商品とお金など
- 上手な比較 例えば並べておく。

● クラステーマ

このプロジェクト「数える」は、発達領域「考えることの発達」が中心になります。お祝いのイベントには「数えること」「分けること」を習得するために必要なことが非常に多く含まれています。

3歳児 「くまちゃんのお誕生日」

4歳児 「ぼくとわたしの誕生日」

5歳児 「お祝い」

● 獲得したい概念

3歳	4歳	5歳	概 念
●			いち・に・さん・し・ご・数えること・じゅうぶん・くまお誕生日(を迎える)・お祝い・お友達・みんな
●	●		手に取ること・もらうこと・指をさすこと・いくつ・指・余り・年パスディハット・プレゼント・ケーキ・ローソク・配る
	●		いくつ・多すぎる・足りない・買うこと
	●	●	点・数字・必要・より多い・より少ない・同じ・サイコロ・お祝いするお誕生日のお祝い
		●	ろく・しち・はち・きゅう・じゅう(数えること)の概念)・同じ・飾り付ける買い物・お店
		●	一番多い・一番少ない・訪ねること・すてき・おかし・ゲーム

※ 上記の概念は一例として考えて下さい。別のアプローチに変更することで、使われる言葉が異なるとおもうのです。その場合も、上記表のように、どのような言葉を獲得できるのかを保育者は見当をつけておくことが大切です。※学び=楽しいという感覚を味わいたいものです。